

# 漁況情報 号外

平成27年8月3日発行

岩手県水産技術センター

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel: 0193 - 26 - 7915 / Fax: 0193-26-7920 / E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

## 《平成27年8月～12月の漁況の見通し》

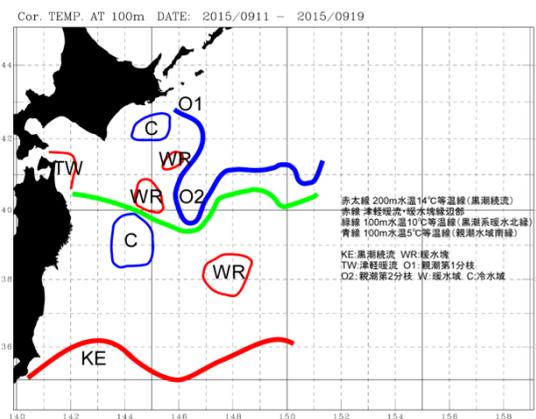
- **対象海域:** 北西太平洋(道東海域から三陸海域)
- **対象漁業:** サンマ棒受網
- **来遊量:** 来遊量は昨年を下回る。
- **魚体:** 漁期前半の10月ごろまでは1歳魚の割合が高いが、漁期後半には0歳魚(中小型魚)が主体となる。漁期全体における漁獲物の1歳魚の割合は昨年(81%)を下回る。
- **漁期・漁場:** 大型船出漁直後(8月下旬)の漁況は悪く、漁場は色丹島～ウルップ島東方海域まで広い海域に分散する。9月になると漁況は上向き、道東海域にも漁場が形成される。三陸海域への南下時期は平年よりやや遅れ、漁場形成は10月中旬となる。

7月31日に、国立研究開発法人水産総合研究センターから平成27年度 北西太平洋サンマ漁況予報が発表されましたので紹介します。

\*\*\*\*\* 今後の見通し(平成27年8月～9月) 抜粋 \*\*\*\*\*

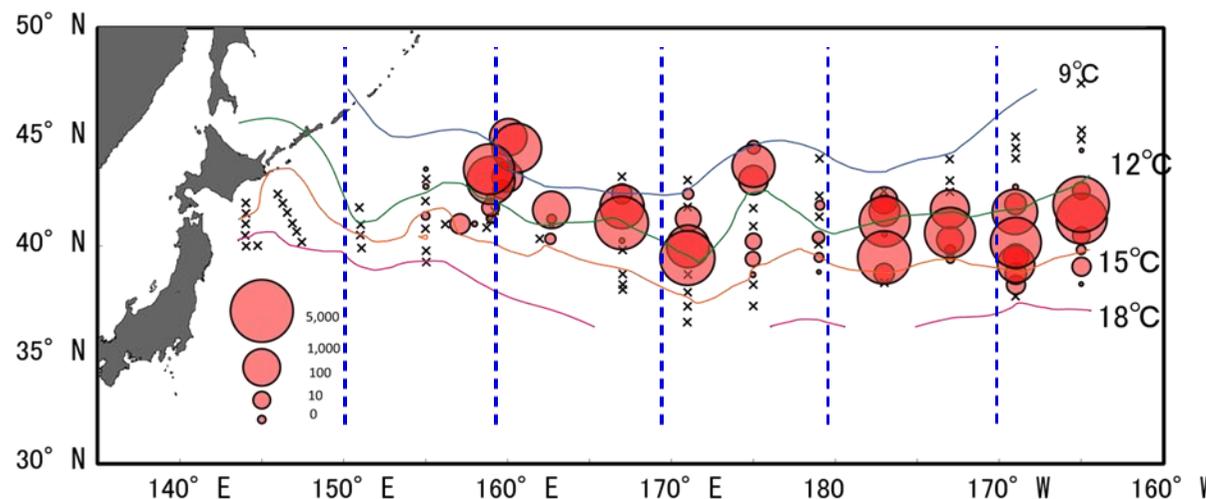
### <海況>

- 親潮第1分枝の南限はかなり北偏～極めて北偏で推移し、三陸近海に冷水域が形成される。
- 親潮第2分枝の南限はやや南偏～やや北偏で推移する。
- 津軽暖流の下北半島東方への張り出しはかなり強勢ののち極めて弱勢で推移する。
- 襟裳岬南東沖の暖水塊は停滞し、三陸沖の暖水塊は北上する。



### <漁況>

- 日本近海への魚群の来遊が遅れ、8月の漁況は低調であるが、9月には上向く。
- 漁期を通じた来遊量は、昨年を下回る。
- 漁期前半は大型魚の割合が高いが、その後中小型魚の割合が増加する。



上図は、平成27年6月～7月に行ったサンマ分布調査の結果。円の大きさは採集されたサンマの尾数、×は漁獲されなかった調査点を示す。サンマは東経155°以西で少なかった。調査海域の西側で分布量が少ない年は、日本近海への魚群の来遊が遅れる。漁期前に北太平洋沖合域に分布していたサンマは、8月以降の漁期にかけて西方へ回遊する。

詳しくは国立研究開発法人水産総合研究センターホームページをご覧ください。

URL: <https://www.fra.affrc.go.jp/>

ご意見などは漁業資源部(担当:川島、児玉)までお寄せください。